

入職者紹介

令和7年4月1日、当院には総勢74名の職員が仲間に加わりました。
今回はその入職者を紹介いたします。

3階病棟

3階病棟では、入職した2名の看護師にインタビューをいたしました。

クラーク 袖山

Q1. 看護師を目指したきっかけは何ですか？

関澤さん

学生時代に祖父母が亡くなり何もできず無力感がありましたが、優しく声を掛けてくれた看護師さんの姿を見て、憧れて志しました。

高橋さん

人のためになることがしたいと考えたからです。すごいと褒めてほしかったからです。

Q2. 原宿リハビリテーション病院を選んだ理由は何ですか？

関澤さん

前職では転棟が多く退院に向けたサポートなどができなかったため、もっと積極的に患者さまの退院後の生活を見据えた関わりをしたいと思ったからです。

高橋さん

先輩からの紹介で、福利厚生がしっかりしていたからです。

Q3. やりがいを感じる時はありますか？

関澤さん

患者さまの相談に乗り解決に向かったとき、患者さまの不安が軽減し笑顔が見られるとやりがいを感じます。

高橋さん

患者さまが退院するまで見守ることができるところと、入院期間が長い分一つ一つできることが増えていくのを一緒に感じられるところが嬉しくてやりがいを感じます。

Q4. 今後の目標は何ですか？

関澤さん

患者さまの笑顔を増やせる看護師になりたいです！

高橋さん

健康第一でいっぱい笑ってみたいです！



5階病棟



5階病棟には3名の看護部の入職者がいます。入職して間もないですが、仕事の飲み込みが早いのか、どんどん次のステップに進んでいるように感じられます。これからが楽しみです。

クラーク 平川

6階病棟

6階病棟では入職した看護師にインタビューをいたしました。

看護補助者 成田

Q1. 看護師を目指したきっかけは何ですか？

一色さん

小さい頃小児科に通院していたのですが、そのときの看護師さんがとても優しく心の支えになったことがきっかけで、大人になったらこの看護師さんのようになりたいと思い看護師を目指しました。

Q2. 趣味は何ですか？

一色さん

旅行、食べること、アニメ鑑賞です。



Q3. 意気込みをお願いします。

一色さん

6階のスタッフの皆さんが優しく接してくださるので、とても楽しく働いています。一日でも早く仕事に慣れ、メンバーの一員として頑張りますのでよろしくお願い致します！

8・9階病棟

今回入職した8・9階病棟のスタッフに原宿リハビリテーション病院の印象とこれからの意気込みを聞きました。

クラーク 比田井

作業療法士 高塩さん

はじめは不安を感じていましたが、先輩方が丁寧に教えてくださるのでとても安心しました。一日でも早く一人前のスタッフになれるよう頑張ります！

看護師

国廣さん、江原さん、折笠さん

原宿リハビリテーション病院は、退院後の生活をイメージして患者さまと接しているところや親身に寄り添っているところが印象的でした。仕事を早く覚えられるよう日々精進します。



リハビリテーション科 新人研修



当院では、「プリセプター制度」を導入しています。

「プリセプター制度」とは、新人スタッフ(プリセプティー)に先輩スタッフ(プリセプター)が一定の期間マンツーマンで指導・教育を行う新人教育制度です。

この制度の目的として、リアリティショック(理想と現実のギャップに衝撃を受けること)を最小限にすること、病院や組織に馴染めるようにすること、新人や学生から医療従事者への移行をスムーズにすることなどがあります。新人スタッフが入職したばかりの初期の段階から一人前になるまで、安心して仕事に取り組める環境作りや、日々実践の場での指導・精神面のサポートなどを行います。自分が新人の頃を思い出しながら、プリセプティーの気持ちに寄り添い指導をするように心がけています。また、できるだけ早く独り立ちできるようにサポートしていきます。

理学療法士は、とてもやりがいがある楽しい仕事です！

理学療法士 猿渡

プリセプター制度



町会対抗

ソフトボール大会



令和7年5月11日(日)に、神宮前地区町会のソフトボール大会が開催され、原宿リハビリテーション病院からはリハビリテーション科2名、入退院支援センター1名のスタッフが参加いたしました。前日の雨の影響もありグラウンドの整備から始まりましたが、ソフトボール大会当日は天候にも恵まれ、町内会の方々や地域の方々と一緒に汗をかき交流を図ることができました。今回参加したリハビリテーション科スタッフは野球経験者のため、連続ヒットを打ったりリーダーシップを発揮したり、チームを一段と盛り上げました。一回戦はコールド勝ち、二回戦は前回優勝チームと対戦となり、かなり手強く、コールド負けという試合結果となりましたが、スポーツを通じて地域の方々とても良い時間を過ごすことができました。

社会福祉士 鈴木



地域の方々と

行事食

当院では月に1〜2回行事食を取り入れています。ご入院中でも、お食事を通して季節や旬を感じていただけるように工夫を凝らしています。今回も様々な行事に合わせてお食事を提供いたしました。

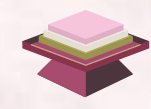
2025年 2/14 金 タ食 バレンタイン

- ご飯
- デミグラスハンバーグ
- ミネストローネ
- 海老のカクテルサラダ
- チョコレートプリン



2025年 3/3 月 タ食 ひな祭り御膳

- ちらし寿司
- 若竹煮
- 菜の花のおろし和え
- 菱餅風ババロア



患者さまからは、

- ハンバーグのボリュームがあり、チョコレートプリンのくどいけがバレンタイン気分になりました
- ちらし寿司が華やかで季節感を感じる食事でした
- オムライスのボリュームがあり満足できました

といったお声が寄せられ、大変ご好評をいただきました。今後も患者さまに喜んでいただけるよう努めてまいります。

管理栄養士 森田

売店のご紹介

当院一階にある売店では、入院中の患者さまやご来院の皆さまにご利用いただけるよう、日常生活に必要な商品や軽食等を取り揃えております。

店内では、飲料、パン、おにぎり、カップ麺などの軽食の他、洗面用品やタオル、電池、入れ歯洗浄用具などの生活用品、文房具などもご用意しております。どうぞお気軽にご利用くださいませ。



売店の営業時間

平日	10:30~17:00
土曜	10:30~15:30
定休日	日曜・祝日・年末年始

お会計は現金のほか、一部電子マネーやクレジットカード、バーコード決済もご利用いただけます。

入院面談

入退院支援センター

受付時間 9:00~17:00
月~金曜日(祝日を除く)

TEL 03-3486-1225 (直通)

FAX 03-3486-1226 (直通)



当院の入退院支援センターには、入院相談や入院調整など主に入院に関わる業務を担当している「入院支援室」、福祉制度の相談や退院相談など主に退院に関わる業務を担当している「退院支援室」があります。

今回は、入院支援室の業務の一つである「入院面談」についてご紹介いたします。患者さまとご家族が安心して入院できるよう、入院前に面談を行います。患者さまやご家族の思いを伺い、入院生活や治療後の身体のこと、今後の生活や介護がどうなるのかなど、不安を解消しながら共に問題解決できるようお手伝いいたします。基本的には電話での面談となりますが、特に希望される場合はご来院いただき、面談と見学を行っております。当院のことをしっかりと知っていただき、「選ばれる病院」を目指して、スタッフ一同わかりやすい説明と丁寧な対応を心掛け、ご案内できるよう日々精進してまいります。

社会福祉士 菊地

医事課からのお知らせ

2025年4月1日より診療報酬改定にて、入院時の食事療養費の自己負担金額が変わります。限度額の区分により金額が異なりますので、表をご確認ください。ご不明な点があれば、当院一階受付の医事課職員にお問い合わせください。

医事課

令和7年4月から入院時の食事療養費の負担額が変わります
国の健康保険法等の規定に基づき、令和7年4月より患者様のご負担金額が下記の通り変更となります。
ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入院時の食事療養費の標準負担額 (患者様負担額)			
所得区分		令和7年3月まで	令和7年4月から
69歳までの患者様	70歳以上の患者様		
区分ア	現役並みⅢ	1食490円	1食510円
区分イ	現役並みⅡ		
区分ウ	現役並みⅠ		
区分エ	一般		
区分オ	低所得Ⅱ	1食230円	1食240円
区分オ	低所得Ⅱ 長期該当	1食180円	1食190円
	低所得Ⅰ	1食110円	1食110円

ひな人形と五月人形



一階のラウンジでは、季節に合わせた飾りつけを行っております。今年も3月の桃の節句にはひな人形を、5月の端午の節句には五月人形を飾りました。どちらのお人形も大変立派で、ラウンジがぱっと華やかになります。入院患者さまやご来院いただいた方に、季節を感じていただけたら幸いです。

コンシェルジュ 山木

防火・防災訓練



令和7年3月12日(水)に、防火・防災訓練を行いました。

病院では、1年に2回以上の消防訓練の実施が義務付けられています。

今回は9階病棟で火災が発生した想定で、防火シャッターと防火扉を実際に閉め、火災の際にどのような状態になるのかの見学を行いました。看護師や看護補助者、リハビリテーション科スタッフ、事務スタッフなど約30名の職員が参加し、緊急時に必要な動きを改めて確認いたしました。防火設備の機能、効果を実際に見学することで、防災意識の向上を図ることができました。

その後、水消火器を使用して消火訓練を行い、日々の業務の中で万が一に備え、防災意識を持ち、しっかりと取り組みました。訓練中にご来院されていた皆さまには、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後も定期的に訓練を行い、職員の防火・防災に対する意識を高めていきたいと思っています。

総務課 小松